



とつきび

2021/1
号外

発行/最上ふれあい学園
編集/最上ふれあい学園広報委員会

〒999-6105 山形県最上郡最上町大字富沢4 4 6 7
TEL 0233-45-2236・FAX 0233-45-2011
HPアドレス: <http://www.vega.ne.jp/~mogamifg/>
Eメールアドレス: mogamifg@vega.ne.jp



最上ふれあい学園 開設30周年 記念式典 特集号

謝辞

寒さの中にも春の兆しを感じられることとなりました。皆様におかれましては、益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

この度、コロナ騒動のさなかではありますが、開設30年の節目のお祝いとして「祝う会」を開催いたしました。福祉事業を取り巻く環境が厳しい中、開設30周年を迎えることが出来たのも、学園関係者並びに保護者の皆様の学園事業へのご理解とご協力、そして多大なご支援の賜物と心から感謝を申し上げます。

保護者の皆様には、開所当時からスポーツフェスタ、収穫祭、雪まつりなどの行事の度、遠路にかかわらず大勢のご参加をいただき、賑やかに行事を盛り上げていただきました。保護者会の結束力も強く、学園行事の他にも合同研修会や研修旅行の実施、保護者会バザーの積極的な運営により地域住民との交流促進も図られました。学園の今日がございますのも、学園と保護者会が信頼を厚く連携を強固にし、保護者会事業を長年継続した賜物とあらためて感謝を申し上げます。

さて、学園は平成2年4月に東京都委託施設として開設いたしました。当時は本館建物以外の環境整備は進んでおらず、杉の老樹が林立したものの寂しい環境でありました。その様な環境下で入園式を迎えました。

受け入れた職員は殆どは専門知識も無く、利用者様の特徴も分からない中、日課も手探りの状態であり、開墾した畑の石拾いや散歩が毎日の日課のようでした。しかし、その当時は利用者様も職員も若く、色々なアイデアで様々な活動を行なっておりました。特に印象に残っている事は、グランドでの大運動会の開催、保護者様と2泊3日の北海道旅行や、山刀切峠へのハイキング、川遊びや芋煮会、湯の浜海岸での海法訓練等、活発に活動していた記憶がよみがえります。

30年の経過に伴い、利用者様の平均年齢は52歳を超え、最高齢者は84歳であり、近年では敬老会も開催し長寿をお祝いしております。このように利用者様の変化に合わせて行事や環境整備も進めてまいりました。「私たちの家」や「朝陽の家の建築と増築」により念願であった8畳4人部屋も解消することができました。また今後の高齢化へ対処できるように、フローリングの居室への改修や、本館と朝陽の家の浴室に車椅子で入浴可能な浴槽の設置など計画的に整備を進めております。

日中活動面においては、地域交流や作業棟の整備の充実を図った一方で、高齢化により作業種目の見直しや規模縮小も余儀なくされてきております。実態に即した柔軟な支援体制と、より個別化した対応が今後求められてきます。

保護者の皆様には心配事は尽きないかと思いますが、利用者様の皆様が安全・安心で健康な生活を送れることが出来るように、そして、学園の「和顔愛語」の理念を心に刻み笑顔溢れる優しい支援を実践していく所存です。今後とも、変わらぬご指導ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

最後に、未曾有のコロナ禍では、利用者様とのご面会、帰省、行事参加の自粛にご協力いただきましてありがとうございます。開園以来の事態であり、利用者様並びにご家族の皆様には、大変なご心配と寂しいお気持ちでおられるかと存じます。

一日でも早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。最上ふれあい学園開設30周年のご挨拶と致します。

園長 松井 平喜



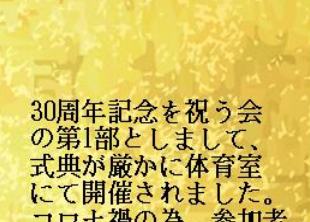
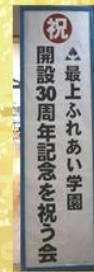
30周年を祝う会を収録したDVDを同封しております。ぜひご覧ください。

第二部 会食

最上ふれあい学園開設30周年記念を祝う会

第一部 式典

祝う会第2部は昼食会です。本来ならば、利用者様全員で体育室にて食べて頂く予定でしたが、コロナ禍の為時間交代制で食堂での食事会となりました。式典と、昼食時間の関係上、主に西棟の利用者様が参加され、園長の挨拶、乾杯に続き和やかな食事会にて30周年を皆さまでお祝いしました。



30周年記念を祝う会の第1部として、式典が厳かに体育室にて開催されました。コロナ禍の為、参加者は最低限に絞り、利用者様は食堂に設置したモニターにて観覧する体勢にて感染防止に努めました。理事長、副町長の祝辞に始まり、職員、利用者様代表計4名の思い出、30年分の写真で構成したスライドショーを鑑賞し、万歳三唱にて大団円となりました。

